

## 2020年6月期 京都信用金庫の現況

### はじめに

地域の皆さまにおかれましては、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態による影響が甚大となるなか、コロナ禍対策でご尽力いただく多くの皆様に敬意と感謝を表します。

当金庫は、新型コロナウイルスとの闘いを乗り越え、地域が一日も早く安定を取り戻すため、全力を尽くしてまいります。

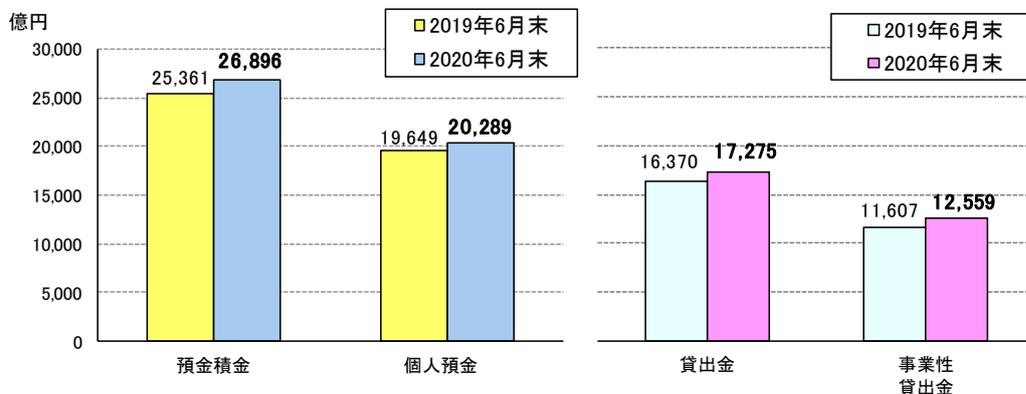
### 預金・貸出金の状況

貸出金残高は、前年同期比で904億円増加し、1兆7,275億円となりました。事業性貸出金が、新型コロナウイルス感染拡大で影響を受けられたお客様に対する緊急支援融資等により前年同期比951億円増加し、1兆2,559億円となりました。6月30日現在でのお客様からの相談件数は11,494件、うち融資件数が5,508件、融資額は1,049億円となりました。

預金積金残高は、前年同期比で1,535億円増加し、2兆6,896億円となりました。

(単位:億円)

	2019年6月末	2020年6月末	増減	2020年3月末
預金積金残高	25,361	<b>26,896</b>	1,535	25,110
個人預金	19,649	<b>20,289</b>	639	19,728
貸出金残高	16,370	<b>17,275</b>	904	16,636
事業性貸出金	11,607	<b>12,559</b>	951	11,906



### 損益の状況

業務粗利益は、前年同期比で731百万円増加し8,693百万円、実質業務純益は、前年同期比で963百万円増加し2,501百万円となりました。

(単位:百万円)

	2019年4月1日 ~2019年6月30日	2020年4月1日 ~2020年6月30日	増減
業務粗利益(A)	7,961	<b>8,693</b>	731
資金利益	7,435	<b>8,199</b>	764
役員取引等利益	148	<b>128</b>	△ 20
その他業務利益	377	<b>365</b>	△ 12
経費(B)	6,423	<b>6,192</b>	△ 231
実質業務純益(A)-(B)	1,537	<b>2,501</b>	963

## ■ 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて

当金庫は「雨の日に一本でも多くの傘を貸す」金融機関として、地域の皆様と一致団結し、新型コロナウイルスに打ち勝つための取組を行っております。

### ●相談窓口の設置



新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた地域の皆様のご相談に丁寧かつ迅速にお応えするため、電話相談窓口のフリーダイヤルを設けるとともに、全店舗に相談窓口を設置し、お困りになっている方々のお気持ちに寄り添った対応を実践しています。

### ●新型コロナウイルスの影響による融資相談及び融資件数・金額（2020年6月30日現在）

相談件数	融資件数	融資額（百万円）
11,494	5,508	104,949

### ●新型コロナ緊急対策融資商品の取扱



事業者の方を対象とした「新型肺炎緊急対策融資」とともに、個人家計を対象とした「スマートLINE コロナ」の優遇金利カードローンの取扱を開始しました。

### ●クラウドファンディング「BUY LOCAL KYOTO」



地元の事業者有志が、新型コロナウイルスの感染拡大で、苦境に立つ飲食店の支援の輪を広げるために、「京都の未来を明るくする飲食店を応援してください！『BUY LOCAL KYOTO』プロジェクト」を立ち上げました。

当金庫は、客足が大幅に減り、休業せざるを得ないなど経営の危機にさらされている飲食店を支援するこのプロジェクトに賛同し、多くの役員が一丸となりお客様と一緒に応援しました。

## ●新型コロナウイルスの拡大防止対策



全役職員がマスクを着用、アルコール消毒、体温測定を行うことで、感染拡大防止に努めました。また、全店舗で職員の交代制勤務を実施し、お客様をお迎える体制を整えるために、全店で1時間の窓口休業時間を設けました。それとともに、3密を避けるため、お客様には大変ご迷惑をおかけしましたが、不要不急のご来店をご遠慮いただくとともに、混雑時には入店制限も行いました。

コロナが収束しても、地元経済が以前の活気を取り戻すには時間を要します。京都信用金庫は「コロナに負けない！みんな一緒に乗り越えよう！！」という気持ちで、全力で地域を応援いたします。一日も早く人々が安心できる生活、笑顔の絶えない地域社会を取り戻すことを切に願います。



- 本資料は、2020年度第1四半期における当金庫の現況をお知らせするものです。
- 本資料に掲載している内容については、発表日において当金庫が認識している計数等を基に作成しています。また、会計監査人による監査は受けていません。
- 本資料では単位未満を切り捨てて表示しています。したがって、項目ごとを加減算した場合、合計欄および増減欄の数値と一致しない場合があります。
- 本資料についてのお問い合わせ先：京都信用金庫 経営企画部 TEL (075) 211-2111